

**指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)**

**1. 基本事項**

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム長沢壮寿の里	評価対象年度	令和2年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

**2. 事業実績**

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 53人) 在籍者数 42人(令和2年9月30日現在:入院等不在者を含む) ※民設化に向け利用者数に大幅な変動あり年度途中の数値を記載																													
	<table border="1"> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>42</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	利用者数	1	3	12	16	10	0	42													
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																						
	利用者数	1	3	12	16	10	0	42																						
②通所介護事業(通所定員 55人) 年間延べ利用者数5,183人:定員に対する稼働率37.3%																														
<table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>481</td> <td>496</td> <td>526</td> <td>507</td> <td>468</td> <td>472</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>488</td> <td>453</td> <td>413</td> <td>322</td> <td>284</td> <td>273</td> </tr> </table> ※通所事業は1単位の他に2単位、3単位も行っていますがここでは1単位のみを表しています。		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	481	496	526	507	468	472		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	488	453	413	322	284	273		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																								
延べ利用者数	481	496	526	507	468	472																								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																								
延べ利用者数	488	453	413	322	284	273																								
収支実績	③短期入所事業(定員 12人) 年間延べ利用者数1,821人:定員に対する稼働率 41.6%																													
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>178</td> <td>126</td> <td>147</td> <td>249</td> <td>252</td> <td>142</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>112</td> <td>134</td> <td>164</td> <td>128</td> <td>127</td> <td>123</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	178	126	147	249	252	142		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	112	134	164	128	127	123	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月																							
	延べ利用者数	178	126	147	249	252	142																							
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																								
延べ利用者数	112	134	164	128	127	123																								
④居宅介護支援事業 給付管理者数(令和3年9月分) ※民設化に向け利用者数に大幅な変動あり年度途中の数値を記載																														
<table border="1"> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>管理者数</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>34</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	管理者数	15	11	5	3	0	0	34														
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																							
管理者数	15	11	5	3	0	0	34																							
サービス向上の取組	①特別養護老人ホーム事業 (収入)																													
	<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>133,308,805</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>33,950,152</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>7,689,948</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>174,948,905</td> </tr> </table>	介護料収入	133,308,805	利用者等利用料収入	33,950,152	その他の事業収入	7,689,948	合計	174,948,905	(支出) (単位:円) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>160,912,478</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>31,235,479</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>40,797,385</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>232,945,342</td> </tr> </table> (収支差額) ▲ 57,996,437	人件費	160,912,478	事業費	31,235,479	事務費	40,797,385	合計	232,945,342												
	介護料収入	133,308,805																												
	利用者等利用料収入	33,950,152																												
	その他の事業収入	7,689,948																												
	合計	174,948,905																												
	人件費	160,912,478																												
	事業費	31,235,479																												
	事務費	40,797,385																												
	合計	232,945,342																												
	②通所介護事業 (収入)																													
	<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>27,313,372</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>2,721,819</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>11,988,310</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42,023,501</td> </tr> </table>	介護料収入	27,313,372	利用者等利用料収入	2,721,819	その他の事業収入	11,988,310	合計	42,023,501	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>48,075,661</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>6,377,140</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>8,511,642</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>62,964,443</td> </tr> </table> (収支差額) ▲ 20,940,942	人件費	48,075,661	事業費	6,377,140	事務費	8,511,642	合計	62,964,443												
	介護料収入	27,313,372																												
	利用者等利用料収入	2,721,819																												
	その他の事業収入	11,988,310																												
	合計	42,023,501																												
人件費	48,075,661																													
事業費	6,377,140																													
事務費	8,511,642																													
合計	62,964,443																													
③短期入所事業 (収入)																														
<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>17,154,748</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>3,799,200</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>206,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21,159,948</td> </tr> </table>	介護料収入	17,154,748	利用者等利用料収入	3,799,200	その他の事業収入	206,000	合計	21,159,948	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>26,619,661</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>5,243,350</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>7,318,236</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39,181,247</td> </tr> </table> (収支差額) ▲ 18,021,299	人件費	26,619,661	事業費	5,243,350	事務費	7,318,236	合計	39,181,247													
介護料収入	17,154,748																													
利用者等利用料収入	3,799,200																													
その他の事業収入	206,000																													
合計	21,159,948																													
人件費	26,619,661																													
事業費	5,243,350																													
事務費	7,318,236																													
合計	39,181,247																													
④居宅介護支援事業 (収入)																														
<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>5,095,291</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>471,100</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,566,391</td> </tr> </table>	介護料収入	5,095,291	利用者等利用料収入	0	その他の事業収入	471,100	合計	5,566,391	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>10,202,082</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>46,450</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>510,837</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,759,369</td> </tr> </table> (収支差額) ▲ 5,192,978	人件費	10,202,082	事業費	46,450	事務費	510,837	合計	10,759,369													
介護料収入	5,095,291																													
利用者等利用料収入	0																													
その他の事業収入	471,100																													
合計	5,566,391																													
人件費	10,202,082																													
事業費	46,450																													
事務費	510,837																													
合計	10,759,369																													
(収入)																														
<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>182,872,216</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>40,471,171</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>20,355,358</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>243,698,745</td> </tr> </table>	介護料収入	182,872,216	利用者等利用料収入	40,471,171	その他の事業収入	20,355,358	合計	243,698,745	(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>245,809,882</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>42,902,419</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>57,138,100</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>345,850,401</td> </tr> </table> (収支差額) ▲ 102,151,656	人件費	245,809,882	事業費	42,902,419	事務費	57,138,100	合計	345,850,401													
介護料収入	182,872,216																													
利用者等利用料収入	40,471,171																													
その他の事業収入	20,355,358																													
合計	243,698,745																													
人件費	245,809,882																													
事業費	42,902,419																													
事務費	57,138,100																													
合計	345,850,401																													
○コロナ禍で状況が変化していくなかでも、職員のスキルアップに力を入れ、業務知識や入居者の安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透している。 ○今年度は6件(昨年はゼロ件)の看取りを行った。利用者一人ひとりの人権を尊重し、終末期まで安心した生活が送れるように、生活の質の向上について取組み、年度終わりには「今年度の看取り」として総括を行っている。 ○満足度調査の結果、各事業とも高い評価を受けており、利用者の声を実際に検討し、サービスに反映することができている。																														

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
感染症への対策は適切に行われているか					
(評価の理由)					
<p>特別養護老人ホームでは、コロナの関係で日々の行事や活動の行い方を検討し、利用者の楽しみ方を模索したことで利用者同士のレクリエーション活動を展開し、それを職員がサポートすることで、個々の利用者に合わせてサービスを行うことができた。</p> <p>ボランティアの受入れは、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて自粛せざるを得なかった。</p> <p>利用者の健康管理においては、管理栄養士を中心とした栄養カンファレンスを定期的に開催し、利用者一人ひとりにあった食事内容や食事のとり方について話し合った。また利用者の食事場面に、栄養士から食事摂取のレクチャーを受けたことで、職員一人ひとりのスキルが上がり、誤嚥で体調不良になる利用者が減少した。</p> <p>感染症対策では、コロナ禍、外部から利用者に接触する機会を極力減らし、感染リスクを回避した。家族の面会についても、リモート面会に切り替え、個々の入居者の様子をお伝えするために近況報告を作成し郵送する等、御家族の不安を軽減する取組みを行っている。職員についても、勤務前には検温と手指洗いと消毒、マスクの交換、勤務中に再度検温を行うことを徹底した。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由)					
<p>契約職員欠員のため人材派遣を活用し、人件費の支出が増えた。</p> <p>収入の確保においては、その他の収入として、音楽療法推進事業交付金を受けたためプラスとなっているが、全体の収支差額は、民設化に伴う運営法人の変更に伴い、入居者が他施設へ移ったため大幅に減少している。</p> <p>収入を増やすために、通所介護においては、令和2年4月からのADL維持加算の算定に向け、毎月、利用者のパーセルインデックスを測定し、加算による増収に取組んできたが、算定要件の一部が合わず非該当になり、増収にはつながらなかった。しかし、特別な状況のなか、適切な管理運営を行ったうえで、収入の確保に努めた。</p> <p>施設会計と利用者預かり金は、引き続きそれぞれ別の担当者が明確に区別し、厳重に管理している。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取組みがなされているか	10	3	6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	10	4	8
		利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか			
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
(評価の理由)					
<p>特別養護老人ホームでは、ケアカンファレンスを定期的に行ったことで、利用者の持っている力や可能性について話し合うことができた。食事について、献立や食事内容が入居者のニーズに合うようになり、日々の食事に満足頂き、入居者から外食等の希望はなかった。</p> <p>短期入所事業では、ケアマネジャーの計画したケアプランをもとにモニタリングを重ね、ご本人だけを注目することとせず、取り巻くサービスや設備・環境、ご家族の意向等も合わせてアセスメントを行った。情報はサービス担当者会議や日々の連絡の中で共有し、在宅生活の継続に必要なサービスの提供や、入所施設への移行も関係機関と連携して推進することができた。</p> <p>通所介護事業では、利用者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう関係機関と情報交換を行い、必要なサービスを提供できた。介護予防通所介護事業では、地域包括支援センターへの情報提供として、改善が多く見られた利用者の事例を紹介し、パワーリハビリの効果を伝える取組みを行った。</p> <p>例年行っている満足度調査は、高い回収率と高い評価を得ており、御家族からの意見を反映する取組みとして実施している。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3	
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか				
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか				
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	5	10	
		安全・安心への取組				事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)
						事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か
	コンプライアンス	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。	5	4	4	
		法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか				
	<p>個人情報の管理は適切に行われているか</p> <p>(評価の理由)</p> <p>認知症や精神疾患のある利用者のケアと看取り体制にも備え、医師1名の基準に対し、精神科、内科の嘱託医を配置している。介護支援専門員1名の基準に対し、利用者の状態変化に合わせたケアプランを迅速に作成するため、加配、手厚い整備がされている。</p> <p>職員のスキルアップとして、看護師がコロナ感染症対策の外部研修を受講し、伝達研修として職員にコロナ対策研修を実施した。研修を受けたことで感染リスク回避についての知識が身につき、正しいコロナ感染防止対応が行えた。</p> <p>通所介護事業では、希望のある職員に介護福祉士の資格保持者からおむつ交換の研修を受けるなど、学びの場を作り、知識や技術のスキルアップへの取り組みを行った。</p> <p>感染症対策マニュアルにコロナについて追記し、全職員が感染の対策や感染時の初動について、確認、対応できるようにした。</p> <p>事故防止に向けた取組みとしては、昨年実施していた危険予知訓練は新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できなかったが、代替として、「社会福祉施設におけるリスクマネジメントについて」と題した伝達研修を2回実施することで、日常業務の振り返りや新たな気付きにつなげることができた。ヒヤリハット件数が増えていることは、事故防止への職員の意識が高まったことが影響している。</p> <p>コンプライアンス遵守に向けた取組みとして、法人事務局に事業統括参事・主幹を設置し、日常的にコンプライアンスの徹底について施設内で確認を行った。</p> <p>個人情報の管理は、引き続き「長沢壮寿の里個人情報保護に関する基本方針」に基づき、適正に管理した。</p>					
	適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。						
施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか						
施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか						
外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか						
設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか						
<p>(評価の理由)</p> <p>施設設備の管理、警備、清掃業務については、併設されている高齢社会福祉総合センターと定期的に庁舎管理会議を開き、施設の計画的な修繕及び維持管理に努めた。</p> <p>事業毎に業務日誌を作成して、利用者の記録はパソコンを利用して入力、介護ソフトに反映させて業務の合理化を図っている。記録にはパスワードを設定して管理している。</p> <p>設備の維持・管理については、長寿命化を意識しながら早めに改修・修理できる場所を把握できるよう、十分な保守・点検を行い、利用者の生活に支障がでないよう、委託業者と信頼関係を築きながら適切な環境維持に努めている。</p> <p>ボランティア、近隣の方、御家族などの協力も得ながら、定期的に植栽の手入れをしている。</p>						

#### 4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、職員全員が感染症対策、健康チェック、利用者への観察力を培うよう情報の共有に努めている。また、職員のスキルアップを目標とし、業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修を定期的に行っている。その結果、介護者の負担軽減や利用者の精神的負担軽減、サービスの質の維持・向上が図られており、全体的な管理運営については、総合評価の結果から優れていると認められる。

令和2年度末の指定管理期間満了に伴う「建替え民設化」による運営法人の変更により、収入増加の取組み、利用者の確保が難しい状況のなか、利用者(ご家族)、地域の方々、職員の誰もが少しでも不安感を軽減できるように取り組んだ。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

令和3年度から民設化し、令和6年度中からの運営開始に向けて、建替え事業を進める。(運営法人変更)